

## 報 告 書

講座名	平成 27 年度かながわ自治体の国際政策研究会 研修会		
日 時	平成 27 年 12 月 22 日(火) 10:00~12:00	場 所	県立地球市民かながわプラザ 1階 研修室 A
主催者	かながわ自治体の国際政策研究会	出席者	県内自治体職員及び国際交流協会等の職員 20 名
<p>1. 講座内容</p> <p>(1) テーマ 「外国人が定住する上で抱える課題について 手続きの観点から 」</p> <p>(2) 講師 (一財)自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー 松本 義弘 氏(横須賀市衣笠行政センター館長)</p> <p>(3) 内容 ある一人の外国人が日本に来日することを想定し、来日後直面する課題を、出来事順に追いながら、その解決方法について参加者皆で考えた。 外国人が来日し、定住するための手順と、日本に来てから必要な手続き(自治体、金融機関、医療機関、教育機関等)に伴う課題について考え、ワークショップで支援の糸口を探った。</p> <p>2. 感想</p> <p>(1) 目的達成状況 来日後の外国人がどのような課題に直面するかを知ることができ、自治体職員の外国人支援のあり方を考える上で大きな参考となった。</p> <p>(2) 参加者の主な感想・意見 グループワークで来日後の外国人が遭遇する出来事を想像することにより、外国人の置かれている状況をより深く理解し、身近な問題として捉えることができた。また、自治体職員として、外国人支援の必要性を改めて感じ、支援の方向性についてより理解することができた。 外国人人口が増加し、周辺の環境も多様化していく中、外国人支援とは何かを深く考え、支援について学べる満足はいく講座だった。一方で、職員も予算も減少する中、外国人の定住率が上昇しており、外国人支援のため、多くの労力、コストを割くことなどの現実的な課題を実感した。 ワークショップ形式だったため、他の自治体とよい意見交換ができた。知らないことを気付くことができ、そのことについて講師より説明があり、分かりやすく楽しい研修であった。</p>			